

大学院入学試験問題用紙

2026 年度一般入試

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
英語	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

問1 次の英文を和訳せよ。

[Redacted area for the English text to be translated]

(出典 : Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), *FY2024 Summary of the Annual Report on Food, Agriculture and Rural Areas in Japan*, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(MAFF), May 2025.)

〔出題の意図〕

専攻アドミッションポリシー（日本人は英語、外国人は日本語の基本的な語学力を有している。）に沿った出題および評価を行っている。

大学院入学試験問題用紙

2026 年度一般入試

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
英語	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

問2 次の英文を和訳せよ。

[Blank area for writing the answer]

(出典: Ministry of the Environment, *Annual Report on the Environment, the Sound Material-Cycle Society and Biodiversity in Japan 2024*, Ministry of the Environment Government of Japan, 2024.)

[出題の意図]

専攻アドミッションポリシー（日本人は英語、外国人は日本語の基本的な語学力を有している。）に沿った出題および評価を行っている。

大学院入学試験問題用紙

2026 年度 1 期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
日本語 (その 1)	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

備考：①答えはすべて解答用紙に記入しなさい。②問題は 2 枚ある。

I. 次の文章中の(1)～(15)について、それぞれの下線部の漢字の読み方をひらがなで書きなさい

[Redacted text for Part I]

(『令和 6 年版 食料・農業・農村白書』)

II. 次の文章中の(1)～(15)について、それぞれの下線部のカタカナを漢字で書きなさい。

[Redacted text for Part II]

(『令和 6 年版 食料・農業・農村白書』)

大学院入学試験問題用紙

2026 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
日本語 (その 2)	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

Ⅲ 次の 1~10 の文章の () 内にあてはまる最も適当な言葉を、それぞれ a~d の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

1. あの人は忙しい ()、私の相談に乗ってくれた。
a. から b. にもかかわらず c. どころか d. せいで
2. 約束した ()、必ず時間を守ってください。
a. ものの b. からは c. のだが d. ばかりか
3. 彼の説明は難しく、理解し ()。
a. やすい b. ない c. かねない d. かねる
4. この小説は多くの人々 () 読まれています。
a. は b. が c. に d. で
5. 両親にピアノを () おかげで、今の私がある。
a. 習わされた b. 習わせた c. 習う d. 習わさせられた
6. お客様のご意見を () いただき、誠にありがとうございます。
a. 申して b. 申し上げて c. 伺って d. おっしゃって
7. 私は最近全然テレビを ()。
a. 見ていない b. 見た c. 見ている d. 見ないだろう
8. このレストランは味がいい。()、値段も安い。
a. それでも b. だから c. しかも d. しかし
9. ボランティア活動 ()、多くの人と知り合った。
a. に対して b. を通じて c. に反して d. に沿って
10. 父 () 連れられて初めて動物園に行った。
a. と b. が c. に d. で

1	2	3	4	5
b	b	d	c	a
6	7	8	9	10
d	a	c	b	c

Ⅳ. 持続可能な社会を実現するために、何が必要だと思いますか。400 字以内で作文をください。

出題の意図：日本語の文法的な正しさについて、作文全体を通して理論的な文章を書くことについて、持続可能な社会に関する理解について、社会的な課題に関する関心について、確認することを目的としている。

大学院入学試験問題用紙

2026 年度一般入試

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
消費者行動論	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

以下の問1、問2のすべての問題に、解答しなさい。

問1

市場における消費者の選択行動（需要、効用、所得制約）を踏まえて、消費者の観点から以下の問いに答えなさい。

- 1) 効率性の概念を説明しなさい。
- 2) 公平性の概念を説明しなさい。
- 3) 市場均衡が効率的であっても公平とは限らない理由について、需要と供給、価格、所得の観点から論じなさい。

【解答イメージ】

効率性

市場が資源を無駄なく配分し、余剰が大きくなる仕組みを説明できていること。

公平性

「誰がどれだけ消費できるか」「誰が利益を得るか」に着目して説明できていること。

両者の関係

効率性（余剰）と公平性（分配）の違いと緊張関係を、初級ミクロの枠組みで論理的に説明できていること。

問2

記憶における「再生」と「再認」のそれぞれの特徴と違いについて、スーパーでの購買場面を例に具体的な商品を用いて説明しなさい。

【解答イメージ】

・概念の理解

再生と再認の定義を正しく区別できているか

・スーパーの購買場面の具体例

具体的な商品と行動が書けているか

・マーケティング的含意

広告・パッケージ・陳列などに触れているか

大学院入学試験問題用紙

2026 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
食料経済学	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

以下の 2 つの問題から 1 問を選び、解答しなさい。

(1) 市場集中度の指標について説明しなさい。また、企業規模で見た食品製造業の市場構造の特徴について、市場集中度の指標の概念を用いつつ説明しなさい。

採点ポイント

- 「上位 N 社累積集中度 (上位 N 社占有率, CR_N)」や「ハーフィンダール・ハーシュマン指数 (HHI)」などの市場集中度の指標の概念が説明できている。
- 食品製造業の市場構造の特徴として、市場の二極集中性 (大規模な一握りの企業と多数の小規模な企業の併存) を指摘している。
- 市場の二極集中性について、上記の市場集中度の指標を使った説明ができている。

(2) ブルウィップ効果とはなにか。また、その原因を 1 つあげ、それがなぜ、ブルウィップ効果を引き起こすか説明しなさい。

採点ポイント

- サプライチェーンは、複数のアクターで構成されていることが明記されている。
- 需要量の変動が川上に行くにつれて大きくなることが明記されている。
- 原因は限定しないが、それによってブルウィップ効果が生じるメカニズムが説明されている。

大学院入学試験問題用紙

2026 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
フードシステム論	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

次の 4 問から 2 問選択して解答しなさい。問題番号を明記すること。裏面使用可。

1. 流通における取引総数最小化の原理について説明せよ。
2. 日本の生鮮食料品に関して、市場外流通が増加した要因について説明せよ。
3. 食品小売業における廃棄ロスと機会ロスについて説明せよ。
4. 日本で食の外部化が進んできた背景について説明せよ。

〔出題の意図〕

専攻アドミッションポリシー（専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識や研究方法を修得している。）に沿った出題および評価を行っている。

大学院入学試験問題用紙

2026 年度 1 期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
農業経済学 (Agricultural Economics)	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

2024 年夏以降の米の価格上昇を生んだ要因について、市場メカニズムおよび政策の観点からを説明しなさい。

出題意図： 本問は、2024 年夏以降の米価上昇について、市場メカニズムと政策の双方の観点から、価格形成に至る過程を構造的に理解しているかを確認することを目的とする。

とくに、農産物供給が短期的に調整しにくいという特性の下で、需給見通しや作況に関する情報の変化が、数量ではなく価格の変動として表れやすくなった背景を説明できているかを評価する。

あわせて、需給見通しに基づく事前の政策判断を中心に運用されてきた米政策の枠組みと、その結果として、需給の変化が明らかになった後に政策的対応を行いにくい構造との関係を、政策論として整理できているかを確認する。

大学院入学試験問題用紙

2026 年度一般入試

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
地域社会経済論	農業経済学専攻 博士後期課程		

以下の3つの問から一つを選び、答えなさい。(最初に選んだ問番号を明記すること)

Choose one of the following three questions and answer it. (Clearly indicate the question number you selected first.)

1) 日本における労働者協同組合について、①背景、②展開過程、③現状と直面する課題について論じよ。

Discuss workers cooperatives in Japan with regard to; 1)background, 2)development process, 3)current conditions and challenges

出題の意図：労働者協同組合がどのような背景で成立し、現在までどのように展開しているか、まだどのような課題があるかについての理解を求めている。

Intent of the question: To assess whether the respondent understands the background behind the establishment of worker cooperatives, how they have developed up to the present, and what challenges they still face.

2) 「リカードの罠」について説明したうえで、「緑の革命」の意義について述べよ。

First, explain the "Ricardian Trap," and then explain the significance of the "Green Revolution."

出題の意図:リカードの罠と「緑の革命」における技術革新の意味について説明することを求めている。

2) First, explain the "Ricardian Trap," and then explain the significance of the "Green Revolution."

Purpose of the question: You are asked to explain the meaning of technological innovation in the Ricardian Trap and the Green Revolution.

3) 「関係人口」とはなにか簡潔に説明したうえで、「関係人口」が注目されるようになった背景、「関係

人口」の創出・拡大が、農山漁村の地域活性化とどのようにかかわりあうか、説明しなさい。

3) First, briefly explain what “related population (*kankei jinko*)” means. Then, describe the background behind why “related population” has gained attention, and explain how creating and expanding “related population” relates to the revitalization of rural, mountainous, and fishing villages.

出題の意図：関係人口は、近年、農山漁村の地域活性化において重要なキーワードとなっている。それがなぜ現在注目されているか、農山漁村の人口減少や活性化に対する中心的な対策であった定住・移住促進との相違や関係性について理解している必要がある。

Purpose of the Question: The concept of “related population” has become a key term in revitalizing rural, mountainous, and fishing communities in recent years. It is essential to understand why it is currently receiving attention, as well as its differences and relationship with promoting settlement and migration—which has been a central strategy for addressing population decline and revitalization in these areas.

大学院入学試験問題用紙

2026 年度 2 期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
環境経済学	農業経済学 専攻 博士後期 課程		

次の 3 問から 1 問を選択して解答せよ。

Choose one question among three questions, and answer it.

Q1 (環境経済学) 環境経済評価方法について、各方法の説明をなさい。

(Environmental Economics) Explain the different methods used for environmental economic valuation.

出題の意図：環境経済手法が非市場財を評価する方法であることを理解しているか、具体的な評価方法を理解しているか、各方法の利点と欠点について理解しているかについて確認することを目的としている。

Q2 (環境政策学) 生活系廃棄物削減のための政策手段を分類し、それぞれの特徴と具体例を説明しなさい。

(Environmental Policy) Classify policy instruments for reducing household waste, and explain the characteristics of each, including specific examples.

出題の意図：廃棄物削減における政策手段を基本分類に沿って整理できるか、各手段の狙い・長所短所を具体例とともに説明できるかを確認することを目的としている。

Q3 (資源経済学) 生物多様性の機能と価値について説明しなさい。

(Resource Economics) Explain the functions and values of biodiversity.

出題の意図：生物多様性の概念を理解しているのか、さらに生物多様性がもたらす様々な恩恵である生態系サービスの 4 つの機能と人間の福利の関係を理解しているかについて確認することを目的としている。

